

第3回湖南省総合計画審議会

議事要約

日時：令和7年8月4日（月）

午前10時00分～

場所：湖南省役所3階大会議室

1. 開会

●市長

皆様には、昨年度に引き続き本審議会の委員として、この先10年のまちの道標というべき第三次湖南省総合計画を審議いただくことに心よりお礼申し上げます。

本日はこれまで委員の皆様にご協力いただき検討してきた計画案を示す段階であり、策定の終盤に差し掛かっている。地域の皆様や様々な主体との連携等により、湖南省の資源の強みを生かすことができる施策を策定し、誰もが笑顔になれる明るい未来を市民の皆様と一緒に考え、まちづくりを進めてまいりたいと考えている。皆様には忌憚のない意見をいただき、共にまちづくりを進めていただけますようお願いする。

これまでにない暑い日が続いており、皆様、どうぞご自愛ください。本日はどうぞよろしくお願ひする。

(公務のため、市長退席)

2. 会長あいさつ

●司会

それでは、会長にご挨拶をお願いする。

●会長

引き続き審議を皆さんにお願いをして、案を完成させるという段階に入った。パブリックコメント、その後の進捗管理等、計画がうまく進んでいくようにぜひ協力いただき、議会やその後の役所の中での管理ができるような計画にしたいと思う。

前回、ワークショップを開いて中学生を含め何回も熱心に討論していただいた。そこで大変心強く思ったことと、少し不安に思ったことがある。心強く思った最大のことは、やはり皆が新規住民や、外国から来てこちらで働いている人や、様々な人たちと融和を図りたい、仲良く進んでいけるまちにしたいということ、中学生の人も含めて皆共有しており、それが驚きと同時に喜びに感じた。国際的な交流、労働、商取引、観光等様々な形で、世界から孤立して生

きていく道は選べない客観的な状況であるが、その中で私が気になるのは、それでは大切な仕事等を、誰がどのように進めていくのかっていうこと、やはりその担い手の確保を単純に人口減少社会というところで話を片付けてしまっている。人口減少はもはや避けがたい事実であり、少ない人口でも今の農業生産や生産高を維持、拡張できるのかということ、今までとは違った手法を組み入れないといけない。しかも機械に頼れるような産業ばかりではなくて、労働集約型の産業も多くあり、そういったところをどうするのかということの知恵が欲しかったが、そこは人口減少が原因というような語られ方になってしまっている。それをどうチャンスとして、少ない人口でもみんながちゃんとやっていける新しいものを作るのか、そういう所が少し弱い。まだそこまで追い詰められていないのか、もう少し厳しい事態になると、もう少ない人口でどう回すのかということになる。

したがって、この審議会ではぜひ人口減少やいろんな問題について、枕詞のように一般論で語るのではなく、本当に課題として何をやれば次に進めるのかということ、みんなで考えて計画に落として行きたい。10年の計画であり、この間に、年齢的な意味での後期高齢者の世代も変わり、次のタイミングに入っている自治体もいくつかある。そういう状況があり、地域の知恵を受け入れて次につなげるということを、ぜひ今のうちにきちんとやれる計画をつくって、新しく来た人たちと一緒に誇らしく生きていける、その様なまちづくり、計画が本当に重要だということを、私はワークショップを通じて感じた。委員の皆様にもいろいろヒアリングをされたと市から聞いているが、ぜひその思いで審議いただきたい。挨拶が長くなったが、ぜひ最後までよろしく願います。

●司会

それでは本会議の議長については、湖南省総合計画審議会条例の第六条により、会長がなることになっており、これより先の進行については、会長に願います。

3. 第三次湖南省総合計画および第三期総合戦略の策定について

1) 第三次湖南省総合計画（案）について

●会長

それでは会議次第の「3. 第三次湖南省総合計画および第三期総合戦略の策定について」というところの「1) 第三次湖南省総合計画（案）について」を審議したい。

事務局に資料の説明をお願いしたい。

●事務局

・配布資料の確認等

1) 第三次湖南省総合計画（案）について（資料1）

資料説明

（省略）

●会長

意見、質問があればお願いします。全体の事でも良いし、章毎に分けることはせずに、どこからでもかまわない。具体的にページとか、当該箇所を上げて質問いただけるとありがたい。些細な事、抽象的なことでもかまわない。いかがでしょうか。

難しいのは10年の計画期間は長いのか短いのかということがあって、政策の対象によって考え方は違う。ハード整備を伴うもの、直ちに必要なもの等、当事者によっても違うだろうし、その辺のところ、スピード感の議論が伝わるようにするのが望ましい。そのあたりについては戦略と進捗管理のところ、市民に伝えなければならない。それから優先順位が並列的に書かれると、それぞれ自分の解釈で受け止める場合があり、また、国の施策に合わせて先に進めるということも出て来る。どれを早く進め、これは後でというようなことも発言いただければ、文中に書き込むのは難しいが、進捗管理のところには反映できるのではないかと思うので、そういう点での意見もあればお願いしたい。

●A 委員

縦割りと言われる行政の中で、横方向に繋がる総合計画は頼もしいと思うが、10年の計画であるが、10年というのは長く、期間内に選挙があって市長交代等があれば計画は変わってしまうのか。もちろん引き継ぎ、継承という部分が多いと思うが、もう少し短いスパンで区切るようなことができるのかということを知りたい。

●会長

一般的には、これはこの先10年間、任命された委員が審議した結果であり、例えば数値目標は変わったとしても、目標を取り下げるとするのは、大変な説明責任が発生する。先ほどあったスピード感の扱いはその時の政治状況で変わることはあっても、基本的な構成は、市民のパブコメ、審議会を経たものであり、軽く扱うものではない。

●事務局

会長の発言の通り、この12月に議会に上程して、承認を受けるものであり進めていくものであり、このまちの将来像でやっていくということは、市長交代があったとしても続けていくことになる。

●会長

それでよろしいか。他に意見はないか。

●B 委員

今の質問に関連して、4章、P112以降、めざす姿が「5年後のめざす姿」になっているのだが、どういうことか。

●事務局

ここは、「めざす姿」で統一しておきたいと考えている。5年後というのは削除して統一する。

●会長

指摘ありがとうございます。統一して行きたいと思う。

他にないか。

●C委員

P95の空き家対策のところであるが、私の住んでいる地域でも高齢化が進んでおり、施設に入るなどで空き家が発生している。さらに高齢化から自治会組織が弱体化している。地域と行政の関わり方、空き家対策としての進め方をお伺いしたい。

それと、P144、文化芸術活動の振興のところ、私は文化協会で審議会に参加させていただいているが、「実施方針」の所に2つ書かれているが、加えて、学校の授業の中で、文化芸術活動を授業の現場で実践するプロジェクトを入れていただければ嬉しい。

最後にもう1点、P74、P75のジェンダー平等、性的マイノリティの所について、今日問題になっているトイレの問題、多目的トイレになると思うが、公共施設としてどのように取り組んでいくのかをお伺いしたい。

●会長

3点の指摘があった。まずは事務局から返していただき、あとは皆様からこの3点について意見があればお願いします。

●事務局

1点目の空き家について、P6で湖南省の現状として世帯数が増加傾向になっている。世帯人員は減少傾向にある。P10の下にまとめてあるが、高齢者人口が増加し、高齢者世帯が増加している。それが住宅需要に影響を及ぼしており、高齢者の独り暮らしの方が増え、諸事情で急激に空き家の増加が懸念されており、空き家バンク等の活用や移住定住施策と関連しながら、横の連携をとって総合的に取り組んでいくことを計画書に盛り込んでいる。

●事務局

自治体の弱体化については、高齢になって自治会に参加できない方、家族の理由など、様々な理由があることを認識している。何歳以上役員を免除するとか、会費も免除するとか先駆的に取り組んでいる自治会もある。企画調整課の中にまちづくり協働推進室があり、連携しながら、自治会に対しても協力をお願いしているところである。また、地域まちづくり協議会の中で、高齢者とこどもの見守り、災害の時の行動を地域で行うことをお願いしている。そういうことを含めて行政としても連携してやっていきたい。

2点目の文化芸術活動のところについては、学校への出前授業等一緒に取り組んでいく旨ありがとうございます。先ほど横のつながりがないとの指摘があったがその通りである。生涯学習という考え方も大切であり、関係部門と連携しながらやっていきたいと考えている。

3点目のジェンダーのところのトイレについても、今の段階での方針は出ていないが、この審議会でご意見をいただいたことを、担当課に伝えたい。

●会長

それでは、挙手があったD委員お願いします。

●D委員

今、地域とのつながりについて話があったが、地域代表者会でも自治会の加入者の減少は共通の課題になっている。地域代表者会でも研修をしたり、先進地視察をしたり、どう進めていったらよいかを課題として取り組んでいる。

●会長

国の法律だけでは多分空き家対策を促すことは難しい。人口が減って空き家が増加しているのに、わざわざ高い新築の家をインフラ整備してまで造っている。なぜ空き家が市場に出ないのか、他の多くの国からすると理解できない。対策が進んでいる所を見ると、町内の方が世話をしながら、仏壇じまい、墓じまい等プライバシーに関わることを支援しているところもある。そのような体制がないとなかなか空き家を市場に出すということとはできない。やはり、移住者にとってはそういうエリアが魅力的だと思う人が増えてきていると思う。その対策が進んでいるところでは移住者は増えるが、対策が遅れているところは難しいというのが調べた実感である。そういうコミュニティのつながりが出れば、町内会の入会率とかいろんなことと連動すると思う。

難しいのはトイレについてであり、トイレは、女性の方が多く並びがちである。すべての公共施設において、適切な配置によって、公共施設を使いやすいものにしていく必要がある。

空き家もトイレも壊して新しいものにするのではなく、知恵を使いながら、有効に管理することを考えて行きたい。

他にいかがか。

●E委員

質問であるが、P16のグラフで、「湖南市を出て進学・就職したい」というのが、高校生で35.2%、中学生40.0%いる。私の周辺ではどこに行ったのかと思うくらい若い人がいない。この数値は他の市町と比べるのもどうかと思うが、これは多いのか、少ないのか。

●会長

一般論で言うと、「わからない」が多いのは上手く伝わっていない質問だと思うが、この数値は決して少ない数値ではない。滋賀県は微妙だが、中高生の間で近畿の都市圏にあるとの認識があるため、仕事や学業の充実をもとめると出ていくのかもしれないが、必ずしも都市部が住みやすいかというところではないという見方もある。また、出生率や婚姻率、大学進学率も低い傾向にあるが、県内の大学に進学する人は増加してきており、近年は過去最高になっている。進学先を経済的に選択する人も増えている。人の流れは今後変わっていくのではないかと思っている。地域に残りたい人も増えていくと思うので、定住者がこれくらいいるというのは、安心できる数値だと認識している。大学進学率が高い地域は進学率を押し上げる何らかの要素が働いていると考えられ、そのあたりが、中高生の将来を考える際の課題だと思う。

よろしいか。他に何か質問はないか。

いろいろ意見をいただいたが訂正箇所については訂正させていただく。
それでは、時間も限られているので、総合計画（案）について承認いただけるか。
（承認）
ありがとうございます。事務局で修正して次の段階に進むということにする。

（所用により委員1名退席）

2) パブリックコメントについて

●会長

それではパブリックコメントについて説明をお願いします。

●事務局

2) パブリックコメントについて（資料2）

資料説明
（省略）

●会長

パブリックコメントという制度はしっかり定着をしてきており、条例制定や計画策定の際に、様々な人から意見を収集できる。非常に細かい案件に対して、どの自治体でも一問一答形式で丁寧に対応するというスタイルが定着している。それは良いことであるが、反面、コメント数が多くなるといって相当手間がかかるのが実情である。

周知公表方法、それから提出先、提出方法などについて、何か意見をいただきたい。

●F 委員

パブリックコメントについては良いと思うが、第三次湖南省総合計画（案）とあるが、市民はそもそも総合計画が何か分からず、総合計画とは何かということの周知徹底が必要ではないか。

●事務局

総合計画とは何か、どういったものかというところから説明して行きたい。まずはホームページやLINE登録されている方に周知していきたい。

●会長

他にないか。

●G 委員

ホームページに記入する際の様式などでできているのか。応募資格について確認する内容は、記載されているとの理解でよろしいか。湖南省に全然関係していない人の意見があった場合には確認できるのか。

●会長

意見応募資格の確認についての質問であるが、事務局、コメントをお願いする。

●事務局

意見を書き込む様式には、住所と氏名を記載することになっている。書いてある住所が市内か、勤め先についても住所を書くようになっているので確認できる。

●会長

匿名で記載することはどこの自治体もやっておらず、名前や住所、当該市町村との関係が分からない場合には無効としての取扱いになる。ただし、コメント数にカウントするかどうかの判断は必要である。まじめに責任を持って記載している方が多数だと思う。行政側も投稿者に不利益にならないように配慮する。パブコメの内容はこの審議会で確認して、投稿者のバイアスを排除し、計画としての見解が伝わるようチェックして、投稿者に返すというやり方をする。心配なのは意見が沢山いただけるかどうかであり、総合計画の意味であるとか、パブリックコメントのメリットが伝わらないと、積極的なところにつながらないので、その点を含め委員の皆様も周知していただけますと幸いです。

それでは、様式については既にあるということで、後で見えていただくこととして、このパブリックコメントの実施についてご承認いただけますでしょうか。

(承認の声)

ありがとうございます。それではこの様にパブリックコメントを進めていきたい。

4. その他

●会長

次に「4. その他」に移る。これは今後の日程の話になる。

事務局、お願いする。

●事務局

次の第4回の審議会は、10月24日金曜日の午後1時30分より開催予定である。よろしくお願ひする。

●会長

皆様、忙しいと思うがどうぞよろしくお願いする。

他に意見交換、周知しておきたいということがあれば、ご発言いただきたい。

特に無いようなので、以上で今回の審議会の議事は全て終了とする。ご協力ありがとうございました。進行を司会にお返しする。

5. 閉会

●司会

会長、議事進行ありがとうございました。

それでは閉会にあたり、副会長に挨拶をお願いします。

●副会長

本日はお忙しい中、また暑い中、出席いただきありがとうございました。貴重なご意見をいただいた。本日の案をもとに、8月22日からパブリックコメントが開始されるので、皆様の周辺の人にもお伝え願いたい。

まだまだ暑い日が続くので体調には気を付けていただき、安全・安心のまちづくりにご尽力いただくようお願いする。

●司会

これをもって、第3回の湖南省総合計画審議会を閉会とする。皆様、本日はありがとうございました。

以上